

【一般目標】

- 1) 医療人の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考方法、態度を自ら実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族に良好な対人関係を築いて診療を勧めることができるようになる。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認して、講義では得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 4) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診察・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 5) 実際の医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

【到達目標】

- 1) 麻酔前の患者の全身状態を把握できる。
- 2) 全身麻酔の目的や種類と特徴を説明できる。
- 3) 吸入麻酔薬の薬理作用や特徴を理解する。
- 4) 全身麻酔に用いる鎮静薬と鎮痛薬について理解する。
- 5) 筋弛緩薬の作用機序と分類を述べることができる。
- 6) 全身麻酔の導入方法を理解する。
- 7) 気道確保の概略とその方法について説明できる。
- 8) 麻酔中に行われるモニタリングの目的や内容を理解する。
- 9) 体液バランスと輸液療法について説明できる。
- 10) 硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔の適応、特徴を理解する。
- 11) 局所麻酔薬の種類、作用、中毒を理解する。
- 12) 局所麻酔、伝達麻酔、各種ブロックを理解する。
- 13) 各種基本手技（抹消静脈確保、中心静脈穿刺、動脈カニューレーション）の目的や特徴を理解する。
- 14) 呼吸器外科手術の麻酔を理解する。
- 15) 心臓外科手術の麻酔を理解する。
- 16) 脳神経外科手術の麻酔を理解する。
- 17) 小児の全身管理の概略を理解し、その特殊性を述べることができる。
- 18) 高齢者の身体的、精神的及び心理的特徴を理解する。
- 19) 全身疾患を有する患者の麻酔管理上の注意を説明できる。
- 20) 麻酔記録を見て解釈、説明することができる。
- 21) 疼痛の種類、発生機序及び制御機構・方法を理解する。

【注意事項】

- 1) 時刻に厳格であること。毎日7時55分にカンファレンスを開始する。
- 2) 端正な服装に心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付ける。
- 3) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節をわきまえ、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力いただいていることに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 4) 守秘義務、個人情報管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護に気を配ること。
- 5) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日のカンファレンス時ないし午前中にオリエンテーションをおこなう。
- 2) 毎日、実習に適した症例を割り振るので（1日1例ないし2例）、常時担当麻酔医のもとで麻酔の実習を行う。必要に応じ適宜質問などを行うこと。具体的にどのような診療行為を行うかは逐一担当麻酔医の指示を仰ぐこと。
- 3) 第1週目の木曜日午前中は術前診察を見学する。
- 4) 第2週目の木曜日午前中はペインクリニック外来を見学する。
- 5) 担当した麻酔症例は、翌日の適切な時に担当麻酔医とともに術後回診を行う。

【週刊スケジュール】 いずれの日も11:00~12:00 各自休憩、食事（食事は弁当：無料）

	行事等	担当	場所	
月	症例カンファレンス（当日、前日） オリエンテーション（第1週） 麻酔症例	- 日高部長 担当麻酔医	手術室カンファレンス室	7:55-8:15
			手術室カンファレンス室	8:30-9:00
			手術室	9:00-16:00
火	症例カンファレンス（当日、前日） 麻酔症例	- 担当麻酔医	手術室カンファレンス室 手術室	7:55-8:15 8:45-16:00
水	症例カンファレンス（当日、前日） 術前診察（第1週午前中） ペインクリニック外来（第2週午前中） 午後から麻酔症例	- 術前診察医 日高部長 担当麻酔医	手術室カンファレンス室	7:55-8:15
			麻酔科外来	8:30-11:00
			麻酔科外来	8:30-11:00
手術室	12:30-16:00			
木	症例カンファレンス（当日、前日） 午後から麻酔症例	- 担当麻酔医	手術室カンファレンス室 手術室	7:55-8:15 12:30-16:00
金	症例カンファレンス（当日、前日） 麻酔症例	- 担当麻酔医	手術室カンファレンス室 手術室	7:55-8:15 8:45-16:00

【評価】

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	30点
カンファレンスでのプレゼンテーション	20点
ポートフォリオの内容	20点
部長の試問	30点

【実習指導者】

日高 昌三	ひだか しょうぞう	1986年広島大卒	麻酔科部長 院長補佐
中川 五男	なかがわ いつお	1980年広島大卒	特任院長補佐
古賀 知道	こが ともみち	1995年広島大卒	第二麻酔科部長
村上 俊介	むらかみ しゅんすけ		医長 麻酔科医師
満谷 尚子	みつたに なおこ	2019年広島大卒	麻酔科医師（後期研修）
菅 春香	すが はるか	2019年久留米大卒	麻酔科医師（後期研修）
國田 直孝	くにだ なおたか		麻酔科医師（後期研修）

【参考図書 参考文献】

- 「ミラー麻酔学」（メディカル・サイエンス・インターナショナル）
「標準麻酔科学」（医学書院）
「痛み学-臨床のためのテキスト」（名古屋大学出版会）